

製菓工場の空調

この製菓工場では、5階建ての建物の中に事務所や食堂のように冷暖房が必要な部分と菓子の製造工程であまり暖房を必要としない部分、また、クッキー等を焼くため冬でも冷暖房が必要な部分があり、場所によって使用方法の異なる空調が必要でした。

そのため、空調設備のリニューアルを機に個別分散方式と集中方式の氷蓄熱システムを採用しました。

【改善効果】

- ・ 産業用蓄熱調整契約の適用により電気料金が低減した。(約13万円/年)
- ・ 夜間への負荷移行により契約電力が低減した。(約100万円/年)

【設備概要】

産業用蓄熱調整契約適用負荷：86kW

- ・ 氷蓄熱ビルマルチ：6.8kW×5台
- 蓄熱槽：1.03m³×5
- ・ 氷蓄熱ユニット：52kW×1台
- 蓄熱槽：10.5m³×1

システム図

